

2 目標達成計画

事業所名：グループホーム菜の花

作成日：平成22年12月15日

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	<p>問題点：「運営理念・会社方針」等を掲げ毎朝・復唱して介護を実践している、が、各人の「能力・資質」が異なる為、全職員が自主的に「実践」の方向に繋げる事は、非常に困難である。</p> <p>課題：各人の「能力・資質」が異なる職員を現実に「運営理念・会社方針等」を認識して全員が同等に「実践」する事は、非常に「期間」を要する。</p> <p>この資質は、二通り有ると云われている。</p> <p>1「マニュアルが無いと実践が出来無い人」</p> <p>2「創意工夫で自分の意思が反映=実践する事で第三者へ感動を与える事が出来る人」</p> <p>職員が最終目標達成する資質等は「後述」の方。</p>	<p>全職員が「運営理念・会社方針等に基づく、介護を実践している施設」が目標で以下次のとおり。</p> <p>※ 運営理念「私達はこの地域の方々を含め入居者様・ご家族・職員が、知恵・優しさ・技と力を出し合い入居者様を中心に、皆で睦みあい、親しみを深め、尊重しあう楽しく穏やかな、我が家づくり」を目指す事。</p> <p>※ 会社方針「真実か」「皆に公平か」「皆の為に成るか」「好意と友情を深めているか」</p> <p>① 会社方針が「運営理念を支えている事を自覚しよう」</p> <p>② 会社方針は「業務を実施する判断基準である事を認識しよう」</p>	<p>1 毎朝「運営理念・会社方針」等を全職員が復唱している。</p> <p>2 今年度は、上記項目の「真実か」を全職員が「目標設定」して個々に「達成度合結果表」を自己申告し、上司「補佐=各ユニット責任者」へ提出する。</p> <p>その上司が、職員個々の目標に沿った介護を「実践した可・否か」を評価して、「取締役施設長（管理者）」が再評価する事で「客観性」が生じる。</p> <p>3 更に、別添「達成度結果表」を各職員からの提出期間を定め「自己評価=職員個々」・「補佐=ユニット責任者」が評価・「取締役施設長=管理者」が再評価してフィードバック=結果を原因に反映させる。</p> <p>これを、職員は「自己を見詰直す」きっかけと成り、目標達成の向上を目指し日々実践している。</p>	<p>期間は3ヶ月を取っている。</p> <p>職員個々に、目標達成度合いが異なる為、レベルを同程度になる迄は、3ヶ月の期間毎、区切ってで実施している。</p> <p>これが、出来無い状況であれば、更に、3ヶ月の期間を設ける。</p> <p>従って、目標達成が多項目な為、今後とも、「運営理念・会社方針」に沿う実践には相当の期間を要するから「中弛み」の危機感をもって取り組んでいる。</p>

2	35	<p>問題点：地域の方々を当事業所が実施する火災・避難誘導訓練時へ参加を依頼するには困難である。</p> <p>地理的環境は高潮・土石流等発生の避難誘導は、地形的に皆無で、火災発生に伴う避難誘導を重点においている。</p> <p>この地域住民の65%は後期高齢者で、火災発生時の避難訓練は体力的に無理と考える。</p> <p>当事業所は、地域住民の住宅と隣接して居無い。</p> <p>更に、側溝と塀を挟んで住宅はあるが、その住民は後期高齢者宅でもある。</p> <p>参加して頂いても良いが、「老々介護」では無いが、「老々避難訓練」となり、2次災害に成る可能性が大であり依頼していない。</p> <p>課題：若年層の方々は、2～3年間程度の借家住まいで地域住民に溶け込んで居無い様である。</p> <p>塵の収集でも単独で業者へ委託、近隣の住民との「トラブル発生」の要因を作りたくない様に感じ取れる。</p>	<p>地域住民で2世帯家族の方々へ依頼する事は可能だが、これも、当施設からの距離が遠く「いざ、鎌倉」の場合で、依頼した時刻から到着時間が5分～10分以内であればお願いする事が出来るが現実問題としては不可である。</p> <p>従って、火災発生時から地域住民へ避難誘導等の依頼をした場合、到着時間は5分程度が目標で、かつ、体力的に、この行動に耐えうる住民の方々を視野に入れている。</p> <p>事業所の隣り＝「近隣」に、住宅が建て込んで避難訓練の対象に即した人達が、生活の拠点として地域に溶け込む事が出来れば可能と考え「目標」とする。</p>	<p>地域の方々を当事業所が実施する訓練時へ参加して頂く為には、左記の問題点で苦慮しているが、今、以上の親近感を必要とする為、更に地域交流が必要である。</p> <p>此の問題点＝「必要性が叫ばれた背景」は、長崎・北海道等の火災による死亡した事も「一つ」問題と理解している。</p> <p>この火災が原因の共通点は「夜勤者1名が勤務した結果」で「火災発生の要因除去・初期消火・通報・避難誘導等」の現実な認識が100%欠除していた事による。</p> <p>事業者も従事者もあまりにも危機感が無かった事、従って、当事業所では、「新規採用者・利用者」の喫煙は徹底的排除している。</p> <p>更に、平屋で平面のユニットであるが、各ユニット共に見通しが良く「利用者・勤務者」の動作が手に取る様に判る職場環境にあっても、夜間は「勤務者2名」を配置して、非常事態に備えている。</p> <p>この様な、同じ職場環境である事業所でも、法的に夜間、1名の配置は可、である為に1名で勤務している所もある。</p> <p>目先の経営的な数字を重視する事も大事だが、それ以上に、災害時の死亡は、非常に大事である事も認識し運営している。</p>	<p>期間は速い事は必要だが、環境を整えば早急に対応したい。</p> <p>但し、上記事項が満たされても、「夜間の勤務者」は2名を今迄どおり配置する。</p>
---	----	---	---	---	---

3	49	<p>問題点：無職の高齢者が社会へ参画を出来る様に、行政等からの支援が必要と考える。</p> <p>この事で、高齢者の意識が変り「介護福祉サービス」の「ボランティア育成」へ繋がれば、当事業所は、この「知識」のある人を歓迎する。</p> <p>現実には、趣味の同好会の方々は「発表の場を介護施設等」に求めている実態がある。</p> <p>しかし、他府県では「介護福祉サービスのボランティア」に参加する事で、行政から気持ちだけの「特典」を与えている状況が「TV」で放映されていた。</p> <p>課題：行政として、「介護福祉サービスのボランティア」育成の方向性を付けてもらいたい。</p> <p>但し、認知症介護サービスに従事する場合「利用者」の方々は「日頃から従事している職員」である事を理解しているので、その対応が非常に難しいと思う。</p> <p>その対応の仕方によっては、不穏「精神的ストレス」を与える事になる。</p> <p>認知症=「生活介護・身体介護・精神介護」が要求される事を自覚して頂きたい。</p>	<p>現在は、「円満退職者」の方々が「ボランティア」として、当事業所で勤務して頂いている。</p> <p>此の方々は「生活介護・身体介護・精神介護」に従事して頂いた方で、自分の時間を優先し、残りの時間に活躍して頂く事を目標にしている。</p> <p>この様な、「円満退職者」の方々が、更に、増える事が地域社会等への貢献にも繋がる。</p> <p>それには、今迄以上に運営理念・会社方針等を現在の職員へ浸透、かつ、実践している職場創りを目指す事も一つの目標でもある。</p> <p>と併せて、定年制度が無いので、正規・パート等の勤務が家庭の事情・体力的等に無理となった方々を本人が希望すれば、「円満退職者」と位置づけ「ボランティア」として参加して頂く事もある。</p> <p>☆「ボランティアの方々」と「職員」及び「事業者」との「意思の疎通を図る」事も大事と考える。</p> <p>それには「職員忘年会・利用者等との忘年会等の食事会」及び「全体会議等」も参加して頂くようにする。</p>	<p>「円満退職者」1名が左記のとおり「ボランティア」として、活躍している。</p>	<p>事業所が存在する限り継続して行きたい。</p>
---	----	---	--	--	----------------------------